

ニセコ町小中一貫教育の「目標」

一貫性のある教育課程編成

- ① 9年間(小・中)一貫した教育方針と目標設定
 - 平成30年度から新学習指導要領先行実施(小学校英語)
 - 英語、ふるさと学「ニセコ学」を重点教育
- ② 積み上げ可能な年次カリキュラムの編成
- ③ 総合的な学習の時間活用の再構築

英語教育の充実

- ① 幼～高まで英語教育機会を確保+教員主体の授業展開(ALTを有効活用)
- ② 児童生徒が到達すべき目標を設定

学習環境づくり、一貫した学習規律

- ① 「ニセコスタンダード」
- ② 運動、健康、体力づくり
- ③ 望ましい生活習慣

地域・家庭との連携

- ① コミュニティ・スクールとの連動
- ② 地域の協力による地域学(ニセコ学)
- ③ 家庭への働きかけと連携による家庭学習機会の確保



小中一貫教育検討協議会での「取組」構築 (平成28年度検討内容まとめ)

英語特別委員会 ⇒ 英語教育

- 高・中から小への乗入授業の実施 → H28.12.20実施(中→近藤小、高→ニセコ小)
- 英語教育に係る指導ノウハウの蓄積 → 中学校での町国際交流員(CIR)と生徒との双方向型交流授業の実施、研究授業参観
- 新学習指導要領先行実施に向けた教育課程の作成 → 平成29年度の教育課程原案について検討する

ニセコスタンダード策定委員会 ⇒ ニセコスタンダード

- 学習規律の統一と幼～高までの体系化 → ニセコスタンダードの中核として確立へ
- 校内での生活規律の統一 → ニセコスタンダードへ
- 家庭での望ましい生活習慣づくり → コミュニティ・スクールの取組などを通じて働きかけへ

総合学習検討委員会 ⇒ ふるさと学(ニセコ学)

- 小中学校における総合的な学習の時間の学習体系を整理 → 各学校共通で取り組めるところを探る
- 他教科も含め幼～高で地域を学ぶ教育活動を展開 → ニセコ学として体系化へ(主要分野: 歴史、有島武郎、環境、ニセコを楽しむ)
- 地域資源の活用方法を検討 → コミュニティ・スクールの取組と連動
- 地域の人々にニセコ学への認知・理解を得ていく



「取組」の実践を通じて「ニセコスタイルの教育」全体像の構築・推進へ

- 町教研の活動など幼～高の教職員が共に研鑽する場づくり、協同した研究活動の展開 ⇒ 教職員が充実を実感できる指導の実現
- 保護者への情報発信 ⇒ 一貫教育の取組に係る保護者の理解と協力の創出
- 「ニセコ学園(仮称)」の構築に向けて一貫教育に係る全ての取組を学園体として内外に見える化
⇒ 町として一体感のある教育活動の展開、「ニセコスタイルの教育」の実感へ(児童生徒・保護者・町民)

小中一貫教育の「取組」（できることから順次実施へ。下線部は着手した取組）

① 英語教育

ア 国・道の制度活用

平成30年度からの新学習指導要領先行実施。（平成29年度中に先行実施のための教育課程を編成）

イ 全ての学校・園におけるALTの効果的な活用

平成29年度からALT（町費）の再配置を行い、特に小学校での新指導要領先行実施に向けた教員主導の授業づくりを支援。

平成30年度以降を見通し、幼・中・高での指導充実に対応できる体制を構築していく。

ウ 授業構築、時間創出

特に小学校での授業構築・ノウハウ蓄積と授業時間の創出に取り組む。

エ 当面の取組

中・高→小への乗入授業、学校間の英語授業・英語学習活動の参観、CAN-DOリストの作成



② ニセコスタンダード

ア 学習規律の統一化

各学校の学習規律のすりあわせと統合・実践による「ニセコスタンダード」の確立。

イ 系統的なニセコスタンダード

一貫教育にふさわしい幼～高まで系統性のあるスタンダードへ発展と児童生徒への効果的な指導。

③ ふるさと学（ニセコ学）

ア 学習体系の整理

「ニセコ学」を系統的に学ぶ環境を一定の時間をかけて構築。（小・中の総合学習を中心とした幼～高における学習体系整理）

イ 総合的な学習の時間活用

小・中の総合学習を中心とした幼～高における地域に関する学習の構築・実践。（ポイント → 地域の歴史、有島武郎、環境学習、ニセコを楽しむ）

ウ ニセコ学の体系化

地域に関する学習を通じてふるさと学＝「ニセコ学」の体系化を図る。（ニセコに誇りを持つ子どもを育てていく）

④ 望ましい生活習慣・家庭学習環境づくり

ア 家庭との連携・協力

アンケート調査結果などによる児童生徒の生活実態・傾向について家庭と共有し、改善・向上に向け家庭の協力を働きかけていく。

イ スマホ・携帯・ネット利用ルール

生活指導連絡協議会を主体として保護者も参画した検討・とりまとめ、実践へ。

ウ 地域全体での環境づくり

コミュニティ・スクールの取組において学校・家庭・地域が協力した環境づくり・支援へ。



⑤ 運動、健康、体力づくり

ア 町教委施策

スポーツ・体育事業の展開、児童生徒の参加。（マラソン大会・スキー大会等を通じた体力向上、スキーリフト券助成、アスリート訪問事業）

イ 食育

地域に根ざした学校給食の提供。栄養教諭による食育指導と望ましい食習慣づくり。